弥太郎笠（1957）

メディア 映画
ジャンル
製作国 日本
色彩 Color
初公開日 1957/07/02

【解説】
戦前から何回か映画化されるほどの人気を誇る子母沢寛の同名小説を「二十九人の喧嘩状」の八尋不二が脚色し「朱雀門」の森一生が監督した時代劇。痛快無比な主人公を市川雷蔵が演じた。
旗本直参の家に生まれながら、武士を嫌い“二本差(りゃんこ)の弥太郎”と呼ばれるようになったやくざものの弥太郎。上州松井田に住む虎太郎の家に世話になっていたが、その娘お雪に慕われているのを知りながら、家を出ることに。土地の悪人として名高い大八は、虎太郎の織工場を乗っ取ろうと画策、お尋ね者の平井久馬を使って虎太郎を殺害してしまう。父を失ったお雪に大八の手が伸びようとしたそのとき、弥太郎が姿を現した。

【クレジット】
監督 森一生
製作 永田雅一［製作］
企画 高椋廸夫
原作 子母沢寛
脚本 八尋不二
撮影 本多省三
美術 太田誠一
音楽 斎藤一郎
出演 市川雷蔵
浦路洋子
矢島ひろ子
木暮実千代
夏目俊二
石黒達也
寺島雄作
清水元
伊達三郎
柳永二郎

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.